佐賀県診療情報地域連携システムピカピカリンクで低ナトリウム血症を発見し、デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠を中止した一例

所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店

筆頭演者氏名：吉田　貴大

共同演者

1. 林田　健作（所属：タイヘイ薬局Ａコープ店）
2. 西坂　宏彰（所属：タイヘイ薬局Ａコープ店）
3. 山田　裕介（所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店）
4. 鹿　智子（所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店）
5. 辻　宗一郎（所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店）
6. 吉村　多希（所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店）
7. 中山　絵梨奈（所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店）
8. 橋本　龍太（所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店）

【緒言】

平成28年度医療課委託調査（薬局の機能に係る実態調査）において、服薬指導業務に役立つと考えられる医療機関から得る外来患者に関する情報の内容として、身長・体重や血液検査値などのデータが示されている。当社のグループ内の薬局においても、これらのデータを活用して服薬指導や医師への情報提供に役立てており、患者からの血液検査結果の提供の依頼だけでなく、「佐賀県診療情報地域連携システム「ピカピカリンク」（※このあとの本文ではピカピカリンクと表記）を活用し、血液検査値を含めた患者情報の把握に取り組み、薬物治療に役立てている。そこで、タイヘイ薬局Ａコープ店においてピカピカリンクを活用して、患者の薬剤の副作用発現を発見し、薬物治療の適正化につなげた一例を報告する。

【症例】

80歳代男性、既往歴：慢性閉塞性肺疾患、尿崩症。定期的に薬局を利用している患者で、デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠60μgを1回1錠1日2回、1日量120μg継続服用中。腹部膨満感による体調不良でかかりつけの医療機関を受診した際に、リナクロチド錠0.25ｍｇとジメチコン錠40ｍｇが処方されたが、その6日後に再診し、腹水に対してフロセミド錠20ｍｇが処方された。①腹水発現時にデスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠の継続は推奨できないこと②ループ利尿剤とデスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠の併用は低ナトリウム血症のリスク増大のため併用禁忌となっていること③ピカピカリンクで血清ナトリウム値を確認したところ137.7mmol/lと低値を示していたこと。以上について、デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠の継続の可否について医師に照会し、デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠は投与中止となった。

【考察】

デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠は、低ナトリウム血症を引き起こすことが添付文書に警告として記載されており、デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠投与中は、低ナトリウム血症の発現の有無について血液検査値を薬局において確認する必要がある。今回の症例のように低ナトリウム血症で迅速な対応を要する場合は、ピカピカリンクの薬局での同意が得られている患者であれば、血液検査値の結果は確認することができるため、デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠など電解質異常を呈する薬剤を服用している患者においては、薬局でのピカピカリンクの必要性は大きいと考えられる。今後も薬局の利用者に対して、広くピカピカリンクを周知していくとともに、これを活用して薬の適正使用に努めたい。

キーワード：臨床検査値、副作用マネジメント、医薬連携、低ナトリウム血症